

学校教育目標

ふるさとを愛し、
夢と希望に向かって
主体的に学ぶ護江っ子の育成



ソフトボールを楽しむ

私は、中学校と大学時代に軟式テニス(ソフトテニス)に打ち込んでいました。

教師になってからも、県民体育大会に出場して継続していたのですが、今では全く途絶えてしまい、ライフワークにすることができていません。「生涯スポーツ」を考えると、恩師山本常男先生の生き方に学ばなければなりません。

「ソフトボールを楽しむ」 山本常男

子どもの頃から勉強より運動が好きで、中学生時代は柔道、野球に熱中した。教師になっても若い間は運動部の顧問をやらされ、軟式野球・卓球・ソフトボールを経験した。中でもソフトボールとの出会いは竹田商業高校女子ソフトボール部の監督をした時だった。竹田は大分国体のソフトボール会場になるほど盛んな地域で、愛好者、ファンも多く大きな期待をかけられた。ソフトボールはちょっとした広場やグラウンドの片隅でも楽しめるレクリエーション的なものの程度の理解しかなかった自分にとっては全く面食らった。ルールは基本的に野球と類似しているが、ソフトボール独特のルールを理解し、適用するには少々時間がかかり、その年の秋に公認審判員の資格を取得することで、生徒も安心してついてくるようになった。県下のトップに立ちたいという思いは日増しに強くなり、若手に任せて猛練習を積み重ねた。早朝練習はもちろんのこと、年数回の合宿、県内・外(熊本)への遠征試合を行った。選手一人ひとりの個性、適性をいかに把握し伸ばしていくか、なかならず投手の育成に何よりも苦労した。お陰で県代表として、南九州大会、九州大会、三重国体に出場することができ、沢山の感動を味わうことができた。・・・次号へ続く



本校第74回卒業証書授与式 ~3月24日(水)~

コロナウイルス感染症対策のため、来ひんの方のご臨席はありません。

また、保護者等の方のご出席は、児童につき**2名**までとさせていただきます。

何卒、ご了承くださいますようお願いいたします。感動のある素晴らしい式にしたいと思います。

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けてのお願い

- 児童生徒が感染した場合、濃厚接触者に特定された場合、PCR検査を行う場合
 - 同居家族の方が感染した場合、濃厚接触者に特定された場合、PCR検査を行う場合
- 学校(園)へ速やかに連絡いただきますようお願いいたします。**



日本赤十字社は、新型コロナウイルス感染症は「病気」「不安」「差別」という「三つの感染症」をもたらしていると指摘しています。なぜ「差別」が生まれるのでしょうか。「見えない敵」(ウイルス)への不安であったり、特定の対象を「見える敵」として嫌悪の対象にしたりしてしまうからではないでしょうか。さらに、SNS等により差別や偏見が拡散されるという現状もあります。

コロナ後の社会では、さらに成熟した社会を目指すためにも、私たち一人ひとりの感性を磨き高めるとともに、「気付き」「考え」「実行する」力、差別を見抜き、立ち向かう力等をつけていく必要があると強く感じています。



1月15日(金)には卒業写真を撮りました。1月19日(火)、20日(水)には、敷地内の樹木のせん定を「市のシルバー人材」の皆様が行っていただきました。春を迎える準備ができつつあります。